

令和7年度 大三島地区学校適正配置地元代表協議会 —経過についてのご報告—

上浦小学校と大三島小学校は、「第2次今治市学校適正配置基本方針」において統合検討対象校となっており、現在、大三島地区では地元代表協議会を設立しています。

地元代表協議会とは、学校PTAやこども園の保護者、自治会等、地域のさまざまな立場から、学校小規模化とそれにともなう諸課題を地域の課題として共有したうえで、解決策を話し合う協議の場です。

ここでは、大三島地区学校適正配置地元代表協議会の経過について地域の皆さまにご報告いたします。

開催日	会議名	協議事項	補足
令和7年 10月27日	第1回 地元代表 協議会	(1)会議の運営方法について (2)今後の会議の進め方について (3)統合検討対象校の現状について (4)意見交換	〈次回に向けての要望〉 ・小規模校の特色や魅力づくりについて全国的な事例がわかる資料がほしい。
令和7年 12月9日	第2回 地元代表 協議会	(1)前回求められた資料について (2)学校小規模化による教育上の課題について (3)学校統合による地域への影響について ・避難所、地域コミュニティ活動の場としての機能 (4)意見交換	〈協議で出た意見★、質問◎〉 ★統合の是非と場所について協議後、新しい学校の特色・あり方についても協議したい。 ★登校バス発着時間/ルートの検討が必要。 ◎統合後、児童クラブは両地域で存続するか？ ⇒要望があれば所管部署につなぎます。 ◎閉校した場合、避難所指定もなくなるか？ ⇒所管部署は違うが、閉校後も避難所指定されている事例を紹介しました。
令和8年 2月5日	第3回 地元代表 協議会	(1)望ましい学校のあり方について ・協議のたたき台として、事務局より大三島小学校での統合案を提示 (2)意見交換 (3)中間まとめ(次年度への引継ぎ)	〈協議で出た意見★〉 ★小中一貫ならば子どもたちの交流が広がり良い効果が期待できるが、中学校施設の増改築等費用の課題あり。統合検討にあたっては「児童の視点」を最優先に考えるべき。 ★将来の児童数推計、小学校施設の老朽化から小中一貫校を検討すべき。 ★小中一貫とすると、9年間、同じところに通うのは子どもにとってしんどいのではないか。 ★地域交流の観点では、両地域に学校があることが望ましい。 ★複式学級にはメリットもある。統合は今でなくてもよい。(既存の小学校を存続させ、中学校施設を整えてから小中一貫化すべき。) ★学校運営上、極小規模校は教員負担が大きい。 ★島内に小学校が2つあれば、人間関係などうまくいかない場合に選択肢がある。 ★統合後はバス通学時間が延長するため、家を出る時間が早すぎる。始業時間を見直してほしい。

【次回の協議会について】

第4回地元代表協議会は、令和8年5月中の開催を予定しています。

詳細な日程は、令和8年4月末以降に、以下の協議会に関するホームページや地域教育課へお問い合わせください。※傍聴を希望される方は、当日会議の開始までに受付へおいでください。

【議事録・協議会資料】

より詳しい会議の結果報告、議事録、協議会で使われた資料は、今治市ホームページに掲載しています。

今治市HP「学校適正配置地元代表協議会(令和7年度)」
| 教育大綱推進課



【第2次今治市学校適正配置基本方針】

基本方針については、こちらから閲覧できます。

今治市HP「今治市の学校適正配置基本方針(令和7年度～令和11年度)」| 教育大綱推進課

